

あなたのブレーカー

# 感震タイプ???

感震ブレーカーとは、一定以上の揺れを感知すると、ブレーカーを自動的に落として電気の供給を遮断し、通電火災を防ぎます。家庭に設置することで出火を防ぎ、他の住宅等への延焼を防ぐことで火災による被害を大きく軽減することができます。



感震ブレーカー等を  
購入・設置する世帯に対し

1世帯につき1回限り

上限 **3万円**

予算がなくなり  
次第終了  
となります！

補助します！ (補助率 3/4)

申請期間：令和6年4月1日～令和7年2月28日

※ 申請方法等については裏面を参照ください。

近江八幡市 危機管理課 ☎ 33-4192

近江八幡消防署 3階 [小船木町819番地]

# 対象世帯

市内に住所を有し、次のいずれかに該当する者

- 65歳以上の者のみの世帯
- 近江八幡市避難行動要支援者制度登録名簿に該当する者がいる世帯

# 対象製品

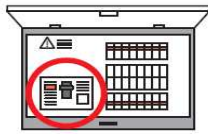
※分電盤タイプについては、一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付住宅用分電盤規格（JWDS00007付2）に定める構造及び機能を有するものに限る

製品ごとの特徴・注意点を踏まえ、適切に選びましょう！

## 分電盤タイプ(内蔵型)

分電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約5～8万円(標準的なもの)  
※電気工事が必要



## 分電盤タイプ(後付型)

分電盤に感震機能を外付けするタイプで、センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断します。  
※漏電ブレーカーが設置されている場合に設置可能

費用：約2万円  
※電気工事が必要



## コンセントタイプ

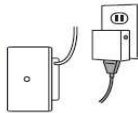
コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断します。

費用：約5千円～2万円程度

(埋込型)  
壁面などに取り付けて使うもの  
※電気工事が必要



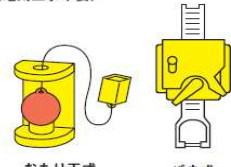
(タップ型)  
既存のコンセントに差し込んで使うもの  
※電気工事が不要



## 簡易タイプ

ばねの作動や重りの落下などによりブレーカーを切って電気を遮断します。

費用：約2～4千円程度  
※ホームセンターや家電量販店で購入可能(電気工事不要)



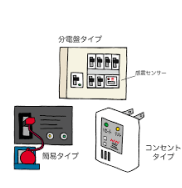
◆内閣府・消防庁・経済産業省「感震ブレーカー普及啓発チラシ」より引用

# 申請のながれ

① 必要書類をそろえて申請する



② 感震ブレーカー等の整備(購入および設置)



③ 口座に補助金が振り込まれます(※1)



(※1) 実績報告書や請求書等の提出が必要となります。

# 申請時必要書類

- 補助金交付申請書
- 見積書等の写し
- 購入及び設置する感震ブレーカー等の仕様がわかる書類
- 設置補助確認調書

詳細については、危機管理課へお問い合わせください。  
危機管理課 ☎ 33-4192 [近江八幡消防署3階]